

事務事業名	動物保護活動支援事業	外部評価の状況	事務事業No.	723 - 11
		なし		

1. 基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
市民環境部	環境整備課	環境衛生係	主事	伊藤 亙	課長	福田 憲一
施策体系	総合計画	政策	7	自然環境		
		施策	2	快適な生活環境づくり		
		基本事業	3	環境美化活動の推進		
	その他の計画	個別計画	-			
根拠法令・条例・要綱等	飯塚市地域猫活動支援事業実施要綱					
事業開始年度	令和2年度	事業終了年度	令和4年度	事務事業類型	ソフト事業	
実施手法	一部委託	補助金等の支給	補助金等あり	実施計画期間	-	

2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と運動）

概要	地域猫活動に取り組む住民等で組織される団体を支援することにより、飼い主のいない猫の適正管理を推進し、もって猫に起因する生活環境被害の軽減及び猫の引取数の減少を図る。					
対象	働きかける相手・もの	地域猫活動を実施しようとする団体				
手段	方法・働きかけ（活動指標）	地域猫活動団体が地域猫に対して不妊去勢手術を実施する場合、協力動物病院で使用可能な手術券を交付する。また、地域猫活動及び団体登録の推進を図るため、市報やHPでの広報活動を行う。				
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	地域猫活動を推進し、登録団体数及び保護猫数を増やす。				

3. 活動指標（決算成果説明書と運動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
周知回数（広報等）	回	市報等にて広報した回数	—	1	10

4. 成果指標（決算成果説明書と運動）

指標	不妊去勢手術頭数	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
		頭	10	—	10	10
		方向性	達成目標年度	実績	—	3
説明	手術券を活用し手術した頭数	維持	毎年度	達成率	#VALUE!	30.00%
指標	登録団体数	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
		団体	2	—	1	2
		方向性	達成目標年度	実績	—	1
説明	登録申請を承認した団体数	増加	当年度	達成率	#VALUE!	100.00%
指標		単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
		方向性	達成目標年度	実績	#DIV/0!	#DIV/0!
説明				達成率	#DIV/0!	#DIV/0!

5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と運動）

予算科目・事業	会計 1 一般会計	款 4 衛生費	項 01 保健衛生費	目 04 環境衛生費			
	大 99 その他の環境衛生費	中 21 動物保護活動支援事業費	他 0 事業				
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	区分(R1まで)	(R2以降)	前年度実績実績(千円)	本年度実績(千円)	増減理由(10%以上の場合)	次年度予算(千円)	
	正職員	正職員	0.00 人 0	0.13 人 1,025	令和2年度新規事業であるため	0.13 人 1,025	
	任期付職員(保育士)	任期付職員(保育士)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
	任期付職員(CW・水質)	任期付職員(CW・水質)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
	再任用フル	再任用フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
	再任用短	再任用短	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
	嘱託職員	1級フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
	臨時職員	1級パート	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
		2級パート	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0	
	人件費計(A)			0		1,025	
事業費	直接事業費(B)		0	48			210
	総事業費(A+B)		0	1,073		1,235	
直接事業費のうち		委託費	0	48		210	
の主な歳出内訳		-	0	0		0	
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)		0	0		0	
	国・県支出金		0	0		105	
	市債		0	0		0	
	一般財源		0	1,073		1,130	
その他()							

6. 事務事業の事後評価★			
評価視点	評価項目	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価 (上位施策/ 成果)	市の関与の妥当性	妥当	地域猫活動団体が行う飼い主のいない猫に対する不妊・去勢に伴う手術費用の補助(手術券の交付)については、県の補助を受けて行っているが、県からの補助が地域猫活動団体ではなく、市を介してしか行われないため、市が関与する必要がある。
	目的の妥当性	妥当	地域猫活動によって飼い主のいない猫の適正管理を推進することにより、猫に起因する生活環境被害の軽減及び猫の引取数を減らすことが目的であるため、妥当である。
	対象(受益者)の妥当性	妥当	地域猫活動を実施する地域の住民を中心とした活動団体が受益者であるため、妥当である。
効率性 評価 (活動量/ コスト)	コスト削減・コスト効率化	余地なし	申請を受理し、手術券を交付する事務のため、省力化の余地なし。
	負担割合の適正化	適正	手術の費用は行政側の全額負担となっているため、受益者負担はない。
	手段の最適性	最適	類似事業はないため、最適である。
有効性 評価 (成果/ 活動量)	目標達成度	未達成	本年度の手術頭数は3頭と、目標としていた10頭には満たなかった。
	上位施策への貢献度	貢献できた	不妊去勢手術を実施することで、猫に起因する生活環境被害の軽減に貢献できた。
	事業継続の有効性	ある	将来にわたり、猫に起因する生活環境の被害を防止するため継続が必要である。

7. 前年度評価時の計画と実績

前年度評価★		前年度記載した改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★	
評価区分	方向性	次年度以降に予算(コスト)を必要とせず、直ちに実施できる改善策	-
なし	なし	次年度以降に予算(コスト)増を必要とし、中長期的に実施する改善策	

前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度を実施できたこと、などを記入

令和2年度新規事業であるため、なし

8. 今年度評価における成果と課題(決算成果説明書と連動)★

【成果】	地域猫活動団体として1件登録を行った。その団体の申請を受け、手術券を6枚交付し、3枚活用した。
【課題】	地域猫活動自体、あまり認知されていない。そのため、問い合わせがあった際には事業を案内し、市報等を活用して積極的に周知を行っていく。

9. 今後の事業の方向性と改善策

成果の方向性	拡充	④	②	①	評価区分	事務事業の方向性		
	現状維持						③	⑤
	縮小						⑥	
	休・廃止	⑦						
コスト投入の方向性								

次年度以降の改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★

コスト(人・予算等)を必要とせず、ただちに実施できる改善策	地域猫活動及び団体登録の推進を図るため、市報やHPでの広報活動を行とともに、関係機関等との情報共有を密にし、可能性のある団体に対する情報提供を行うなど、細かな制度周知を実施する。
コスト(人・予算等)を必要とし、中長期的に実施する改善策	なし

評価変更理由	担当課は記載しない。
--------	------------